

vol. 21

団地生活の安全・安心・快適をサポートします

JS plus

[ジェイエス・プラス]

JS LIFE DESIGN MAGAZINE

CONTENTS



- 1 特集
始めよう! おうちでできる快適エコライフ ~地球に優しい、お財布に優しいエコを気軽に~
- 8 快適生活のミニ知識
本多弘美の 収納上手へのポイントレッスン ~バスルーム編~
- 9 随筆
「メモ帳から」その21 大槻茂
- 10 CLOSE UP 団地ライフ
育んだ団結力で、ほがらかな暮らしを支える
埼玉県所沢市の新所沢団地自治会
- 12 平野レミの“早ワザごはん”
- 14 こんにちはJSです。
環境に配慮する仕組みを作ります-ISO・品質改善推進室
- 16 読者のお便りから READER'S COLUMN
- 17 JSからのお知らせ JS INFORMATION

表紙イラスト: 国分 ^{くにのぶ} チエミ

特集

始めよう!

おうちでできる……
快適エコライフ

~地球に優しい、お財布に優しいエコを気軽に~



今の生活を無理に変えなくても、毎日の暮らしをちょっと見直すだけで
誰にでもできるエコアクションがたくさんあります。

いつもの暮らしを見直したり、

ちょっと懐かしい昭和のエコライフを今風に取り入れたり、
省エネ家電や最新のエコグッズを利用したり、すぐにできるエコの数々を紹介します。

暮らしを楽しみながら「地球も自分も気持ちいい」

お財布にも優しいエコライフ、さっそく始めてみませんか?

いつもの暮らしを見直そう



エコに関心を持つ人が増えています。でも、何をしたらいいのかわからないという声も多いのですが……。 「難しく考えなくても大丈夫。身近な暮らしの中でできるエコアクションがたくさんありますよ」というのは、環境ライター 箕輪弥生さん。ちょっとしたことの積み重ねでエコライフが実現できるとのこと。さっそく紹介していただきましょう。

●できることから始めよう

「気候が変動して動植物が北上したり、魚が捕れなくなったり、地球が弱っています。地球温暖化をくいとめるためには、家庭から出るCO₂（二酸化炭素）を減らしていくことが大切。次世代の子どもたちのためにも、できることから始めましょう。節水や節電をすることで光熱費の節約にもなりますよ」

環境によいことをして、お財布にも優しいなんてうれしい限り。でも、どこから始めればいいのでしょうか？

「ひんぱんに使うところから見直しましょう。平成16年の資源エネルギー庁の調べによると、最も電気を使っている家電は1位がエアコン、2位冷蔵庫、3位照明器具、4位テレビ。この4つで家庭の電気使用量全体の約7割を占めていますから、まずはここから始めます」

●キッチンでできる省エネ

箕輪さんがまっ先に挙げたのが、冷蔵庫です。

「毎日稼働している冷蔵庫の見直しで、CO₂や電気代がかなり減らせます。設定温

度の“強”を“中”にするだけで年間1,360円の節約になります。ぎっしり詰めすぎないようにして、暖気が入らないよう開け閉めの回数にも注意します。中心部を空けてコの字型に食品を置いて庫内を見やすくしたり、100円ショップなどで売っているアルミのトレイを利用して、パン食や和食別に食品をまとめてセットし1回で取り出す工夫をしたり。冷気が逃げないようにビニールカーテンをつけるのもおすすめです」

調理するときはエコクッキングを、と箕輪さん。

「シチューなどの煮込み料理を作るときは圧力鍋や真空保温調理器を使えば、調理時間が大幅に短縮でき、ガス代も節約できます。特殊な鍋がなくても、保温効果のある手作り



鍋カバーを使えば、余熱をうまく利用することができます。バスタオルや毛布、発泡スチロールの箱でも保温できますよ」

●リビングでできる省エネ

リビングでは、エアコンをチェックする箕輪さん。

「まずは設定温度を見直しましょう。夏の冷房設定温度を26度から28度に2度上げることで、1世帯あたり、年間約1,330円の電気代を節約できます。扇風機やサーキュレーター（空気循環機）を併用して、部屋の空気を循環させればエネルギー効率がアップします」

●トイレでできる節水

「実はトイレの水量は“小”で用がたせることが多いので試してみてください」と箕輪さん。

「“大”なら13ℓですが“小”で流せば6ℓですみ、かなり節水できます。日本は水資源に恵まれた国ですが、気候変動が大きくなるにつれて水不足になることも考えられます。水を大切にしたいですね」

●エコドライブで省エネ

自動車に乗るときはエコドライブを楽しんで、と箕輪さん。

「加速する時にふんわりアクセルを心がければ、約1割燃費がよくなるというデータがあります。最初の5秒で時速20kmが目安。アクセルの踏み方に注意を払うことで節約になります。エコドライブで走行中は速度にムラが出ないように、3台くらい先を見る予知運転を心がけてください」



箕輪 弥生さん -yayoi minowa-

環境ライター、マーケティングプランナー。広告代理店勤務などを経て、1989年よりマーケティングプランナーとして独立。現在は、環境に配慮した商品の開発や企画、暮らしと環境に関わる記事の執筆など、環境に関する幅広い活動を行っている。主な著書に『LOHASで行こう！』（ソニーマガジンス）、『あなたにもできる環境生活のススメ』（飛鳥新社）などがある。



昔懐かしい暮らしを思い出そう



次に箕輪さんが提案するのは、懐かしい時代から伝わるエコライフを取り入れること。ひと昔前のお母さんたちは買い物かごを提げていました。これ、今のエコバッグと同じですね。モノがない時代、昔の人たちはエコライフを実践していたのです。

●すだれ&すのこを使う

昔から使われてきた夏の定番グッズを使って、部屋を涼しくしているという箕輪さん。



「熱の7、8割が窓から入ってくるので、窓の外側にすだれを掛けてベランダから家の中に熱が入ってくるのを防ぎ、日が落ちたらすだれに水を掛けて打ち水効果を狙います。ベランダにすのこを敷いて、コンクリートの床面が蓄熱されるのを防ぎます」

●掃除に箒ほうきを使う

掃除には箒が便利、という箕輪さん。「小さいお子さんの食べこぼしなどちょっとした掃除に便利なのが、昔ながらの箒です。掃除機のように音が出ないし、フローリングや畳の隙間のホコリやごみも取れます。小さい手ぼうきは、パンくずや棚の上、ランプシェードなどのちょっとしたごみやホコリを払うのに便利です。箒草ほうきぐさや棕櫚しゅうろなどの植物

繊維でできているのでイヤな静電気も起きませんし、エネルギー消費を減らすことができます」

▼「手軽なのがうれしい」と、箕輪さんが愛用している江戸箒（ほうき）と洗柿で染めたちりとり。



●やかんを使う

お湯を沸かす時に、やかんを使っているという箕輪さん。

「電気ポットで1日2回お湯を沸かして1日中高温に保つと大型冷蔵庫を超える電力を使うというデータがあります。必要な時にやかんを使えば、エネルギーと時間の節約になります。熱伝導率のいい素材で底面積が広く、早く湧くやかんを選ぶとより省エネになります」

やかんで沸かした湯でコーヒーを入れ、保温効果のあるサーモマグに。こうすると、いつでも温かいコーヒーが楽しめるという箕輪さん。毎日続けられるエコですね。

▶箕輪さんが自宅で作っているケトル。銅製のコイルを巻いているのでお湯が早く沸く。



●布団を打ち直して使う

最近、布団を打ち直したという箕輪さん。「布団がふかふかになって戻ってきて、気持ちいいですよ。江戸時代から続いてきた布団の打ち直ですが、昔から伝わるメンテナンスの技術を大いに活用したいですね。東京都だけで年間に62万枚の布団が捨てられているのですが、もったいない話です。綿や羽毛、羊毛なら、捨てずに打ち直してみたいかがでしょう」

●エコバッグを使う

「私たちが毎日出すごみは約1kg。その6割がトレーやビニール袋などの容器や包装類といわれます。買い物に出るときはエコバッグを持っていく、包装類を家に持ち帰らないという習慣をつけるだけで、家庭から出るごみを減らせます。お風呂で使うシャンプーやリンスに詰め替え可能な商品を選ぶのも容器を減らし、エコになります。瓶を持参して醤油やミリンを詰め替えたり、鍋を持って豆腐を買いに行ったのは昔の話ですが、最近、オリーブオイルやハチミツ、味噌などを量り売りしてくれる専門店が増えています」

●洋服のリフォーム

しまい込んである不用な服をどうす

るか悩みの種ですが、箕輪さんはくり返し活用することを提案します。

「仕立て直したり、先織りなどの材料にしたり、昔は大事に使い切りましたね。今は、フリーマーケットやネットオークションで販売したり、新しい繊維の材料や工場用雑巾などにリサイクルする“ファイバーリサイクル”という方法があります。捨てずに、できるだけリユースやリサイクルを活用したいですね」

●旬の食材を選ぶ

昔は、夏はスイカ、キュウリ、トマトなど旬のものを食べることでほった体を冷ました。冬は大根や白菜を食べて体を暖めるなど、昔の人はバランスよく食べていましたね。トマトは冬でも売られていますが、冬にトマトを作るには多くのエネルギーを使い、その分CO₂を排出しています。世界中から食べ物を輸入している日本の自給率は



40%を切っています。できるだけ旬のものを選んで食べることは、運送費や不必要なエネルギーの節約につながります」

省エネ&節約になるグッズを使いこなそう



次に箕輪さんが紹介してくれるのは、生活の中に取り入れてみたいエコグッズの数々です。エネルギー効率を高めるものや自然エネルギーを使うものなど、日々進歩している新しい技術に注目してみましょう。

●無駄な電力をカットする 電球型蛍光灯

電力消費の多い照明には電球型蛍光灯がおすすめという箕輪さん。

「白熱球と同じ明るさで5～8割くらい省エネ効果があります。蛍光灯のクールな色合いのほかに、電球色や昼白色などが選べます。価格はやや高めですが、寿命は6～12倍ほど伸びるので、結果的に節約につながります。人感センサー付き照明器具にすると消し忘れがなくなります。最近、注目されているのが、消費電力は白熱電球に比べて5分の1以下、寿命は4万時間というLED照明（発光ダイオード）です。照度不足が気になるところですが、寝室のフットライトなどに向いています」



▲電球色の電球型蛍光灯



◀温水洗浄便座はタイマーをつけてオンオフを調整する。

●待機電力をカットするタイマー

タイマーでさらに省エネをという箕輪さん。「トイレで温水洗浄便座を使っている場合は、フタをするだけでも年間700円の節約になります。使わないときに便座を暖めておく必要はないので、タイマーをセットしましょう。外出時は切れるようにして朝晩だけ入れるなど、暮らしにあわせてタイマーを使いこなせば、かなり省エネできます」

●使い捨てにしない充電式電池

「1年間に捨てられる乾電池は20億本といわれます。乾電池を使い捨てにせず、充電式電池（ニッケル水銀電池）に替えてみてはいかがでしょうか。中には太陽光で充電できる“ソーラー充電器”もあります。さらに自動車を蓄電池として使う電気自動車も注目されています。エコ新時代に向けて、世の中が大きく変わっていくことを実感します」

▶ごみになるペットボトルではなくサーモマグやステンレスボトルなどのマイボトルに、好きな飲み物を入れて出かける。



箕輪さんの夏のオススメ
抹茶ドリンク

抹茶と氷を入れてシェイクすると簡単に混ぜり、カテキンたっぷりさわやか抹茶ドリンクのできあがり。

●省エネ度を比較して 上手に家電の買い替えを！

家電を買い替える時のポイントを、箕輪さんに教えてもらいましょう。

「10年前のエアコンに比べて最新式は電気代が約半分になるなど、上手に省エネ家電を選ぶと電気代の大幅な節約につながる場合があります。エアコンやテレビ、冷蔵庫、照明器具などの新旧家電の省エネ比較をするなら、環境省が運用している情報サイト“しんきゅうさん”を活用して、CO₂や電気代の差を調べてみましょう。売り場で必ずチェックしてほしいのが“統一省エネラベル”の☆の数です。数が多いほど省エネになっているので、星の数を見て選ぶのが一番わかりやすいですね。“エコポイント制度”もうまく使って、お得に買い替えましょう」

※省エネ製品買換ナビゲーション「しんきゅうさん」

<http://shinkyusan.com/index.html>

「この100年で東京は気温が3度もアップしています。いま、何とかしないと」と、地球の温暖化を見つめる箕輪さん。私たち一人一人が生活の中でエコアクションを意識し、快適に暮らせる地球環境に目を向けていきたいですね。

●買い替え時の省エネ家電の選び方、 まめ知識

【エアコン】

エネルギー消費効率を表す「COP」の数値が大きいものを選ぶ。
冷暖房能力を示す「APF」の数値が大きいものを選ぶ。
「フィルター自動お掃除機能」付きが便利。

【冷蔵庫】

「高機能の断熱材」を使用しているものを選ぶ。
「ノンフロン」を選ぶ。
「インバーター制御」搭載を選ぶ。
「設置スペース」にゆとりのある大きさを選ぶ。

【テレビ】

「待機電力」低減機能付きを選ぶ。
「明るさセーブ」機能付きを選ぶ。
「液晶」のほうがやや省エネになる。

【洗濯機】

「節水機能」が強化されているものを選ぶ。
「待機電力」ゼロのものを選ぶ。
乾燥機能付きは「ヒートポンプ乾燥方式」が省エネになる。



バスグッズがぬめぬめしたり、カビの温床になったり…。バスルームの「きれい」を守りましょう。

体を洗うための道具は、ラックにまとめて

髪の毛や身体を洗うシャンプーやリンス、石けん類は、直接、床に置くとぬめりの原因になります。ラック等でまとめて整理しておけば、使いやすく、ぬめりやカビも防止できます。ボディブラシやタオル類はラック脇のバーに掛けたり、壁に吊るすように収納すると水切りができて、清潔に保てます。収納グッズはさびにくく丈夫なステンレス製のものがお勧めです。



▲ラックに整理されたボトル類と脇に吊されたボディブラシ類

掃除のための道具は、床から離す

洗剤類も専用ラックに入れて一か所にまとめ、床に直接置きません。ブラシやスポンジはひもやS字フックを使ってラックの脇やタオルハンガーに



▲壁にまとめたブーツと掃除用ブラシ

かけてしっかりと水切りをし、こまめに手入れしながら使っていきたいですね。ブーツを使っている場合も、フックを壁につけて吊るし、床から離します。

風呂オケやイスは上手に乾かす

お風呂から上がった後のオケやイスは、お風呂の蓋の上に伏せるように置くなどして、水に触れさせずに上手に乾燥させましょう。お掃除のときも、このように片付いていれば扱いが楽です。



▲水に触れさせないようにして乾燥

読者プレゼント☆

本多弘美監修の「1、2、3で部屋が片づくマジカル整理術」(成美堂出版・文庫本)を抽選で5名様にプレゼントします。いつのまにかモノが散らかり、気づいたら家じゅうがゴチャゴチャ! そんなあなたにぴったりの《3ステップ整理術》をエリア別に収録。応募方法は16ページに。



「メモ帳から」その21

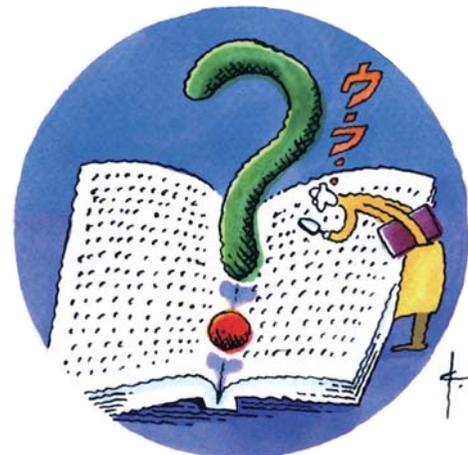
大槻茂

朝日新聞阪神支局の襲撃事件をめぐる「週刊新潮」の「虚報」と「その後」には、大変驚かされた。虚報そのものもそうだが、「なぜだまされたか」などの言い訳は、他人を容赦なく批判してきた組織(言論機関)のものとは思えない。この虚報問題で責任を取ったり、あるいは取らされたりした人物は、新潮社内に1人もいないというのも信じられない対応である。

気になったのは、一連の推移を受けての雑誌関係者らによる「雑誌ジャーナリズムの危機」という物言いだ。どうやら、「雑誌ジャーナリズム」は、「事実」が「真実」であるという裏づけがなくとも、自分たちが「本当」と思えば報じることにあるらしい。だが、これはおかしい。本来、ジャーナリズムに、雑誌、テレビ、新聞という媒体の違いによる区別などあるはずない。表現方法は異なっても、「真実」は同じであるはずだからである。雑誌であれ、新聞であれ、裏づけが取れなければ報じない。それが、ジャーナリズムの原則である。

昭和天皇ががんに侵された直後、私に「ある情報」が寄せられた。昭和天皇の「独白録」の「写し」があるというものだった。「現物を見れば書きたくなるのが記者。今すぐには書いてほしくない」という情報提供者の希望もあり、しかるべき時に「写し」を見せてもらうという条件で取材を進めた。数年後、提供者は「写し」の所在を明らかにしないまま急死した。

そのときの取材メモは、今も私の手元にある。提供者が説明した内容は微に入り細を穿っており、1人の人物の作文とは到底思えない。つまり、本物くさいのである。「どうすれば世に出せるか」と何度も思案した。世紀の特ダネを物にしたいという欲望もあったからである。だが、「裏づけ」という最後の壁を乗り越えられなかった。残念ながら、これからもそうであろう。



イラスト・ナメ川コーイチ

大槻茂 SHIGERU OHTSUKI

読売新聞社に入社後、社会部、生活情報部を経て、現在、青森大学客員教授。主な著書に「新天皇家の人々」「そばとうどん」「渋谷天外伝」など。

滑川公一 KOHICHI NAMEKAWA

イラスト・漫画修業のため渡仏。帰国後に個展「パリと猫と…」'82年度日本漫画家協会優秀賞受賞する。作品に「世界のショートショート傑作選」「なにぬねこ」など。

育んだ団結力で、ほがらかな暮らしを支える

埼玉県所沢市の新所沢団地自治会

●50年の歴史を持つ自治会活動

新所沢団地は、西武新宿線新所沢駅前から続くケヤキの並木通りをはさんだ両側に広がる大規模団地です。所沢市の近代化の先駆けとして誕生し、第一団地から第四団地まで2年をかけて完成。昭和34年に入居が始まり、その当時は埼玉県で最大の団地でした。

全国でも歴史の古い団地の一つに数えられる新所沢団地は、平成5年より順次建て替えが始まりました。現在は、豊かな樹木の中に中高層の建物が並ぶ新しい団地に生まれ変わっています。

入居の翌年に結成された団地自治会は、



長年に渡り居住者の親睦や地域交流を図り、建替えに伴うさまざまな活動にも取り組んできました。

自治会会長の稲津昌幸

■会長の稲津昌幸さんにお話を伺うと、「同じ緑町内に建つ名前が違う5つの団地からなる自治会ですが、先輩の英知により、発足してからずっとひとつにまとまってきました。現在は総戸数2387戸で、役員が130人近くいて、副会長が16人います。一生懸命に活動するパワーのある婦人が多く、ひとかたまりになり組織力も強いですよ」と、団地の案内地図を広げながら説明してくれました。

●地域に根付いた資源リユースの輪

自治会が手掛けているユニークな活動に

フリーマーケットがあります。取り組みについて事務局長の猪股敏也さんに聞きました。

「平成4年のスタートで、始めたきっかけは建替えに伴う団地内移転や戻り入居、引っ越しなどで、家庭から不要なものがたくさん出たことです。捨てれば



■事務局長の猪股敏也さん

ゴミ、生かせば資源になります。ゴミにはしたくないとの思いから、バザー開催の経験を生かして、緑町中央公園でフリーマーケットを始めました。好評で、年6回奇数月に開催し、あと2回で開催100回目を迎えます。お年寄りリユースに協力的で品物を提供してくれますので、自治会が出店しているスペースで安く売って来場者に喜ばれています。会場では災害地に贈るカンパ金を募るなど、さまざまな活動の場としても活用しています」

フリーマーケット実行委員長の田中義一



■緑町中央公園内の直径50mの円形広場を使ったフリーマーケット会場。

今回は東京のベッドタウンとして広がる新所沢団地の自治会へ。結成50年の歴史の中で、環境にやさしい活動もしっかりと根付いています。



■フリーマーケット実行委員長の田中義一さん

さんが、「口コミで広がり、申し込みが殺到して200区画以上に膨らむほどでしたが、会場整備の都合から今の120区画程度に絞りました」と付け加えます。

資源の再利用にもなり、地域交流の場にもなっている自治会のフリーマーケット。長い歴史の中で地域に根付いた催事となっています。

猪股さんが、地域に根付いた催しをもう一つ紹介してくれました。

「緑町中央公園で2日間に渡って開催する夏祭りは、大勢の人で賑わいます。緑町町会と団地自治会の共済で、市内の町内会の祭りでは最大。お祭りのメインは盆踊りだけなんですけど、どういうわけか人が集まってくるんですよ（笑）」

●花植え作業に花好きが集合！

団地内の各所にはプランターが置かれ、季節の花が咲いています。路上駐車を防止するために始めた対策ですが、今ではなくてはならない団地の彩りになっているとのこと。



■団地の近くの畑で秋の味覚を収穫する参加者たち。



■ママたちの輪が広がる「子育てママのティーサロン」



■花壇委員会のメンバーが集まって四季の花々を植え替えています。

「年に3回、市の緑自然課から花の苗や球根をもらって、プランターの花植えを行っています。テラスハウスに住んでいた方は、庭に植木や花を植えて楽しんでいたので、みなさん、土いじりが大好きなんですよ。花植え作業を始めるよ！と声を掛けると、お手伝いしてくれる人が大勢集まってきます」と話すのは、事務局次長の佐藤久美子さん。



■事務局次長の佐藤久美子さん

稲津さんは「世代交代をいかにうまくしていくかがこれからの課題ですね。現在はリタイア世代が中心になって活動していますが、世代間のギャップを埋めながら、若い世代に自治会活動をバトンタッチしていきたいと考えています」と、今後を見据えます。

長い時間をかけて育んできたまとまりが、息の長い自治会活動を支えているのでしょう。みなさんの和やかな様子が、団地の雰囲気の良いさを伝えていました。



■盆踊りと夜店だけのシンプルな夏祭りは、いつも大盛況。

Remi Profile

シャンソン歌手で料理愛好家、
夫はイラストレーターの和田誠さん。
シェフではなく主婦として自作料理に情熱を燃やしている。
最近では自ら手がけるブログが人気。 <http://www.remmy.jp/>



平野レミの 早ワザごはん

おいしさの秘密は食べてみてのお楽しみ！ ナゾのいんげんクルクル巻き

家族の好みの野菜や季節の野菜、チーズなど
いろいろなものを豚肉でクルクルッと巻いちゃおう！
おすすめは巻きやすくておいしい、さやいんげん。
ベビーコーンやグリーンアスパラもおいしいよ。
ひとくち食べたときのみんなの顔を見逃さないで。
意外とコクがあることにびっくりするはずだから。
オヤッと驚く味の秘密はベーコンとマスタード、
豚肉のうまみをグーンとアップさせちゃうの。

■ 材料(4人分)

さやいんげん 36本
薄切りベーコン 6枚
豚もも薄切り肉 12枚
塩・コショウ 各少々
マスタード 適量
サラダ油 大さじ 1/2
レモン 1個

■ 作り方

- ① さやいんげんのスジをとり、塩少々を入れた熱湯でかためにゆでて、ザルに上げておく。
- ② ベーコンを縦に半分に切る。
- ③ 豚肉の薄切りを広げて軽く塩、コショウする。その上に半分に切ったベーコンをのせて、マスタードをぬる。
- ④ ③の手前側に、さやいんげんを3本そろえて置いて、端かららせん状にクルクルッと巻いていく。
- ⑤ フライパンに油を熱して、巻き終わりを下にして豚肉を並べ入れる。(※フライパンの大きさによっては6本ずつ焼く。) 中火で焼いて肉が縮んできたら、焼き色がつくまで転がしながら焼きつける。
- ⑥ 焼きたてを皿に盛りつけて、くし形切りにしたレモンを添える。

技plus

- 野菜を巻くときは、ゆるまないようにキュッキュッと巻いてね。
- 肉を焼く前にフライパンをよく熱しておく、肉の巻きが取れにくい。
- 大人には辛口のマスタードをたっぷり。子どもにはケチャップとマヨネーズをぬったり、カレー粉をまぶしてもおいしいわよ。



調理時間
15
分くらい

第12回

レミパン 読者プレゼント☆

恒例！ご紹介のお料理がさらに
簡単においしく作れる
「レミパン」(平野レミ考案)を、
抽選で1名様にプレゼント！
詳しくは16ページに。

こんにちは
JSです。

こんにちは JS です。 環境に配慮する仕組みを作ります—ISO・品質改善推進室

団地内の環境維持を業務の一つとしているJSでは、地球環境にやさしい企業を目指し、全社一丸となって環境対策に取り組んでいます。ISO・品質改善推進室を訪ね、その取り組みについて諫早英一室長と吉澤和之課長に話を伺いました。

Q. 環境についてのJSの取り組みについて教えてください。



▲ ISO・品質改善推進室の諫早英一室長

—環境への取り組みを積極的に行うことは、企業としての社会的責任を果たす上で不可欠です。JSでは、環境に配慮する継続的な仕組みを作ることが重要だと考え、その仕組み作りのために、全事業所においてISO 14001環境マネジメントシステムの認証取得を目指しています。



▲ ISO・品質改善推進室の吉澤和之課長

Q. ISO14001環境マネジメントシステムとは、どのようなものですか？

—ISO14001「環境マネジメントシステム」は、ISO（国際標準化機構）が定めた国際規格です。基本的な構造は、自主的な環境管理の方針及び目的・目標を設定し、その達成に向けて取り組み、チェックを行って見直していくというプロセスを繰り返して、継続的に環境マネジメントのレベルを改善していくというものです。審査登録機関の審査を受けて、取り組みが規格に適合していることが証明されます。

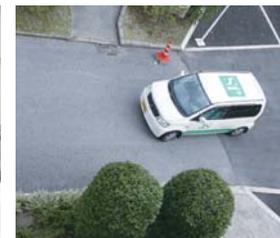
Q. 認証取得に向けてのISO・品質改善推進室の役割は？

—当社の環境方針に従って、達成目標となる素案を作成し、全社の合意で決定していきます。クリーンメイトを含む社員や、パートを入れると約7000人が全員で同じ達成目標に向かって動くのですから、システム自体を全員が理解できるように明確な目標設定をしなければなりません。設定後は協力会社のみなさんにも取り組みをお願いして、業務に携わる者全員で取り組みます。

Q. 現在、進めていることを教えてください。

—昨年12月より認証取得へ向け、取り組みがスタートしました。中期の目的として地球温暖化の防止、資源消費量の削減、廃棄物削減・資源化などを掲げています。初年度は、全員が参加しやすい「紙、ゴミ、電気」といったベーシックなものを目標に設定しています。スタート時は環境に配慮する意識づけを大切に、本来の業務に差し障りのないように実行していくことを心がけています。

実際の運用例をご紹介します。「事務所の電気使用量を昨年実績の1%削減する」という目標を設定し、そのためにエアコンの温度を夏期は28度、冬は20度に設定し、昼休みは消灯しています。オフィスで快適に過ご



▲ 全社員、全協力会社の車が、エコドライブを心がける。

すために、夏期はノーネクタイでクールビズ、冬はウォームビズを呼びかけています。

他にも、営業車の燃費を向上させるためにエコドライブに努め、両面コピーの徹底などOA用紙の使用量の削減などに取り組んでいます。

当社以外にも、多くの協力会社に賛同を呼びかけることで、いっせいに環境のための行動を取ってくれば、私たちの仕事場である団地内の環境にも良い影響をあたえてくれるのではと期待しています。

Q. 今後の取り組みについて教えてください。

—次年度からはさらなるステップアップを目指して、より環境にやさしい修繕工事など、業務に即した目標を追加していきたいと考えています。修繕工事はお客様が住まいながらの工事ですので、これまでも振動や騒音、ホコリなどを減らし、工期を短縮し、お客様にご不便をかけないように努めてきました。これからもお客様に喜んでいただけるよう、省エネ工法の研究・開発や環境にやさしい製品の採用などに取組んでいきます。

今までは業務の中で自然にやってきたことですが、ISO認証取得をきっかけに、より明確に環境に配慮し、レベルを向上させて、みなさまの満足に努めていくつもりです。

Before



▲ 古くなった浴室の排水トラップを交換せずに、補修し生き返らせる「浴室排水トラップ改修」。

After



▲ 玄関扉（フレッドア）及び既存枠を交換せず有効利用し、断熱・気密性能を向上させる「サイレント・ピラ」。低コスト、廃棄物削減。



▶ 「SGP 管引」抜工具
配管廻りの床コンクリートに穴をあけずに配管そのものを引抜く工具。低騒音・低振動、廃棄物削減。



お便りをたくさんいただいています。
皆さんの元気な声を励みに、次号制作に邁進します。

「おたより」

私は高島平が大好きです。ここで育った
息子が今年結婚し、高島平に住みはじめま
した。老人ばかりと言われていますが、こ
こから巣立った若者たちも戻ってきていま
す。 東京都/K・Mさん

主人の転勤のたび公団に住み、今回で三
つめの団地。住みやすいのでどこに行っ
ても助かっています。 福岡県/S・Yさん

団地育ちの我が家の息子は漫画家の卵で
す。何としても団地育ちのヒーローを誕生
させるべく、今がんばっています。
東京都/M・Yさん

◆川柳、団地生活気質◆

だんちせいかつかたぎ

目にやさし 青葉輝く 春楽し
I・Mさん

桜散り 団地の庭も ドット模様
Y・Hさん

車内では 化粧するまい 食べるまい
T・Tさん

きれいだな コスモスの花 パチリ撮
K・Nさん

ピカピカだ! 背中のカバン 一年生
A・Eさん

春嵐 過ぎてほころぶ 桜の芽
Y・Nさん

読者プレゼント

①第12回レミパン

…1名様



②本多弘美さんの本…5名様

③エコバッグ…25名様



本誌同封のアンケートにお答えいただいた方
の中から抽選で、平野レミさん考案の「レミパン」
と本多弘美さん監修の「1、2、3で片づくマジ
カル整理術(文庫)」、プレーヤーズの「エコバッ
ク」をプレゼントします。

締切りは平成21年9月末日。

※エコバッグの色は選べません。ご了承ください。

☆ 第十回レミパンプレゼント当選者 ……………☆
東京都 中川加奈さん おめでとうございます。レミパンを送らせていただきました。

JSの環境リサイクルの取組み

●約22,000枚の古畳を肥料に再生

当社の業務における畳替えや空家補修工
事では、多くの古畳が廃棄物として出てき
ます。この古畳を単なるゴミにしないリサ
イクル活動は当社関東地区で8年前より進
められてきました。

この活動は、茨城県にあるリサイクル施
設「大洋土づくりセンター(農林水産省補
助事業施設)」との協力態勢で進んでいます。



①処理センターに送られる前
にストックされているJS
の千葉県小室事務所内倉
庫。400枚程度まとまっ
た段階で出荷される。



②センターに運び込まれた畳
は、化学製品の芯がある場
合には、畳芯を切り出し
畳のワラと分ける。



③畳心のスチロール等はこれ
のセンターで再加工され、再
利用のためメーカーに送ら
れる。

ここでは、持ち込まれた古畳と牛糞を混合、
発酵させ、生み出された無臭で良質な有機
堆肥を近隣の農家に出荷して喜ばれていま
す。昨年度は、当社より約22,000枚の古
畳が持ち込まれ、このセンターで完全リサ
イクルされ、約480トンの肥料として生ま
れ変わりました。当社のリサイクル活動の
一環です。



④畳は完全に破碎・すり潰さ
れ、ワラ状態に。



⑤水分調整後、牛糞尿と混ぜ
合わされ、8日間という短
期間で一次発酵、二次発酵
が行われる。



⑥良質な有機肥料が生まれ、
茨城の名産品や作物を育
てる。

- JSplusは管理サービス事務所にも置かれていますので、ご利用ください。
- 本誌創刊号からのバックナンバーを、JSのホームページに掲載しています。一度ご覧になってください。